

事故の例：勝手口ドアのハンドルが外れ、後方に転倒し腰を強打した

なぜ事故が起こったのか？

寒い朝、主婦がゴミ出しを終えて、勝手口から台所に戻る際、ドアを開けようとハンドルを勢いよく引いた時にハンドルが突然外れた。主婦はその反動でバランスを崩し後方に転倒、コンクリートの通路に腰を強打した。

主婦は、以前より勝手口ドアのハンドルがグラグラしていると感じていた。



事故にあわないためには！

ドアのハンドルがグラグラしている等の場合には、ハンドルを取付けているねじがゆるんでいるおそれがあります。そのまま使用されますと、ハンドルが外れて思わぬけがにつながるおそれがあります。

【ご注意のポイント】

- ドアの手柄は、長年の使用により取付けねじがゆるみ、手柄がグラグラする場合があります。手柄がグラグラしないか、ねじのゆるみがないかなど、定期的に確認してください。
- ねじを締めるときは、ねじに合ったドライバーなどの工具を使い、しっかりと締めてください。なお、電動ドライバーの使用は控え、ねじの締め過ぎには注意してください。
- 手柄のグラつきがねじの締め直しで解消されない場合は、家を建てた業者様（工務店、ハウスメーカーなど）へ連絡してください。